

学 年

1 年

## 【正負の数】⑤ 正の数・負の数の加法・減法(2)

年 組 氏名

1 次の計算をなさい。

(1)  $(+3) - (-8) + (-5)$       (2)  $(+7) - (+9) + (-5) - (-4)$       (3)  $(+5) - (+9) + (-5) - (-4)$

2 次の計算をなさい。

(1)  $6 - 8$       (2)  $-3 + 7 - 6$       (3)  $-5 + 11 - 8 + 3$

3 次の計算をなさい。

(1)  $14 + (-15)$       (2)  $-13 - (-12) + 6$       (3)  $11 + (-30) - 25 - (-30)$

4 計算結果が-になるように□内に+，-を書き込みなさい。また計算結果も出しなさい。

$(\square 10) \square (\square 15) =$

$(\square 8) \square (\square 7) \square (\square 6) =$

$(\square 5) \square (\square 5) \square (\square 3) =$

学 年

1 年

## 【正負の数】⑤ 正の数・負の数の加法・減法(2)

年 組 氏名

## 〔Point〕

- ・減法があれば加法になおす。
- ・+と( )を省いた式でも同様に計算ができる。
- ・交換法則を用い、正の数は正の数で計算、負の数は負の数で計算し計算すると便利である。

① すべて加法だけの式にし、同符号を集めて計算をする練習です。

$$\begin{array}{lll}
 (1) (+3) - (-8) + (-5) & (2) (+7) - (+9) + (-5) - (-4) & (3) (+5) - (+9) + (-5) - (-4) \\
 = (+3) + (+8) + (-5) & = (+7) + (-9) + (-5) + (+4) & = (+5) + (-9) + (-5) + (+4) \\
 = 3 + 8 - 5 & = 7 - 9 - 5 + 4 & = 5 - 9 - 5 + 4 \\
 = 11 - 5 & = 11 - 14 & = 9 - 14 \\
 = 6 & = -3 & = -5
 \end{array}$$

② 同符号を集めて計算をする練習です。

$$\begin{array}{lll}
 (1) 6 - 8 & (2) -3 + 7 - 6 & (3) -5 + 11 - 8 + 3 \\
 = -2 & = -3 - 6 + 7 & = -5 - 8 + 11 + 3 \\
 & = -9 + 7 & = -13 + 14 \\
 & = -2 & = 1
 \end{array}$$

③ 加法だけの式にすると、足し算記号としての「+」が省略できるのです。

$$\begin{array}{lll}
 (1) 14 + (-15) & (2) -13 - (-12) + 6 & (3) 11 + (-30) - 25 - (-30) \\
 = 14 - 15 & = -13 + 12 + 6 & = 11 - 30 - 25 + 30 \\
 = -1 & = -13 + 18 & = 11 - 25 \\
 & = 5 & = -14
 \end{array}$$

④ 絶対値の理解にもつながります。いくつかの例が考えられますので、複数人で作った式の解きあいをしてみるのも良いかもしれません。

## 【解答例】

$$(+10) - (+15) = -5$$

$$(-8) + (+7) - (+6) = -7$$

$$(+5) + (-5) + (-3) = -3$$